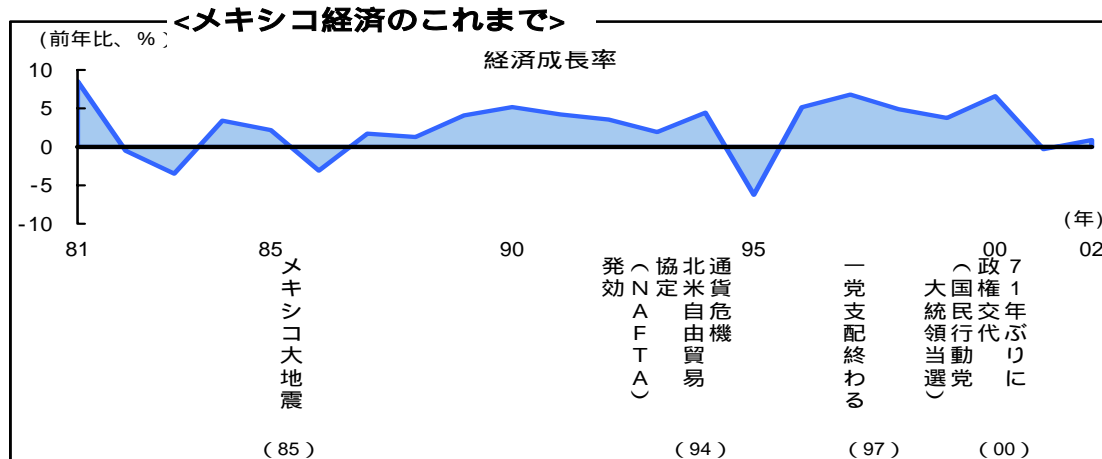


20 メキシコ

United Mexican States

<2002年>

人口 9,748万人(2000年2月時点) 財政会計年度 1月~12月
 (日本の約3/4) 為替制度 変動相場制
 一人当たりGDP 6,537ドル 通貨 ペソ
 産業構造(GDP構成比) 1次産業 5.4% 面積 196.4万km² (日本の約5倍)
 2次産業 26.7% 1米ドル=9.66ペソ
 3次産業 67.9%



メキシコの主要経済指標

		92~01年	2002年	2003年		2004年		民間機関
				政府	IMF	政府	IMF	
実質GDP	前年比%	3.1	0.9	3.0	1.5	-	3.5	実質GDP
鉱工業生産	同上	3.4	0.0	-	-	-	-	2003年
消費者物価	同上	16.0	5.0	3.0	4.6	-	3.4	平均 2.0
失業率	%	3.6	2.7	-	-	-	-	最大 2.7
経常収支	億米ドル	155	141	180.4	-	-	-	最小 1.5
(GDP比)	%	(3.4)	(2.2)	(2.8)	(2.2)	-	2.7)	2004年
財政収支	億米ドル	24.3	39.0	32.5	-	-	-	平均 3.3
(GDP比、年度)	%	(0.5)	(0.6)	(0.5)	-	-	-	最大 4.0
政府債務残高	億米ドル	491	940	-	-	-	-	最小 2.5
(GDP比、年度末)	%	(10.9)	(14.7)	-	-	-	-	(23社)

- (備考) 1. メキシコ銀行、メキシコ地理情報統計院、IMF "International Financial Statistics",
 見通しの政府はメキシコ財務省 "Economic Policy Guidelines for 2003" (2002年11月)、
 IMFは "World Economic Outlook" (2003年9月)。
 2. 財政収支は、一般政府。2002年は、農業開発銀行 (Banrural) 解散の影響を除いたもの。
 3. 政府見通しの消費者物価は、12月の前年同月比。

<2003~2004年の経済>

2003年は2%程度の成長が見込まれる。2003年春時点の見通し(3.0%)に比べ、民間機関23社の見通しは2.0%と下方修正されている。個人消費の伸びが緩やかだったことや、アメリカ経済の回復の遅れ等から、年前半の成長率は1.2%にとどまった。年後半はアメリカ経済の回復や、緩和的な金融政策が景気回復を後押しするものと見込まれる。また、7月に行われた下院議員中間選挙において、与党の国民行動党よりも野党の制度的革命党が議席を獲得した。そのため、金融システムの強化等従来より取り組んでいる構造改革の行方が注目される。

2004年は3%台半ばの成長が見込まれる (IMF見通し3.5% (2003年9月) 民間機関23社の平均3.3% (2003年10月))。